



## 米国大統領就任式の感想

1月21日午前1時半、眠い目をこすり、テレビの前を陣取って臨んだアメリカ大統領就任式典。新大統領の包み込むようにあたたかく、それでいてまっすぐな眼差し。米国民の誰一人として見捨てはしないという決意のようなものを感じました。バイデン大統領の言葉は、もしかすると米国民だけでなく、世界の人々の心を揺さぶるものだったのではないのでしょうか。

長い間「人種のるつぼ」とも呼ばれてきた米国において、民主主義という言葉がそれほど重みの持つものなのか、今度のことで改めて考えさせられました。大統領は、社会の分断を乗り越え「米国の未来のため、結束が必要だ」と何度も呼びかけました。白人至上主義と過激主義に対抗する意思を示す一方で、自らの支持者には「寛容さと謙虚さ」を求めたのです。

「意見の相違が分裂に繋がってはならない。私は全ての米国民の大統領になる。私を支持しなかった人々のためにも、支持してくれた人々と同じように懸命に闘うと約束する」

バイデン氏の力強い演説を聞いて、思い浮かべた言葉がありました。

「もし、あなたが敵と平和を築きたいのであれば、あなたはその敵と一緒に話し合わなければなりません。それから、敵はあなたのパートナーとなることでしょう」

南アフリカの元大統領、故ネルソン・マンデラ氏の言葉です。いつの時代も、世界のどこにいても、このような和の精神を大切にしたいものです。

バイデン大統領はその就任初日に、地球温暖化対策の国際的枠組である「パリ協定」への再加入、世界保健機関（WHO）からの脱退撤回、新型コロナ対策としてのマスク着用義務化、前政権によるイスラム諸国からの入国制限破棄などの大統領令に署名。トランプ前大統領の「米国第一主義」を転換し「再び世界と関わり合う」という国際協調路線への復帰を明確にしました。

20日に発足した新政権は閣僚全25名のうち約半数が女性、非白人の人種の少数派も多数在籍する歴史的な陣容となります。深い分断に苦しむ中で、まさにこの多様性の力をもってして、山積する課題の克服に挑もうとしています。これこそが真のアメリカらしさなのだ、まるで世界に向けて発信しているようにも見てとれます。

はっとさせられたことは、ほかにもあります。上院議員だったカマラ・ハリス氏が副大統領に就任。ハリス氏は女性で、黒人そしてアジア系として米国史上初の副大統領となりましたが、就任式では鮮やかな青紫色のコートとドレスに身を包んでいました。共和党は赤、民主党は青がシンボルカラーで、混ぜると紫になるため、米メディアは「結束のメッセージ」と相次ぎ報じました。言葉や身のこなしだけでなく、直接は見えない細部にまで込められた思い。生半可でない、心意気を感じました。

唐 啓山

## 独裁者に必要な「諫官」 【後編】

独裁下では人事報復などによる恐怖政治、それによる忖度政治がはびこる。「悪貨は良貨を駆逐する」—これは通貨の法則であるが、政治の世界にも援用できる。長期政権になるほど、政治は劣化し、社会のあり様まで変わっていく。気が付いた時は既に遅く、修復しがたいほどになる。

独裁を防ぐには初期段階で声を挙げるのが必須と、歴史は教えている。

ドイツ人のマルティン・ニーメラ一牧師の警句がある。「ナチスが共産

主義者を攻撃し始めたとき、私は声を挙げなかった。私は共産主義者ではなかったから。次に社会民主主義者が投獄されたとき、私はやはり抗議しなかった。社会民主主義者ではなかったから。労働組合員が攻撃されたときも私は沈黙していた。そして彼らが私を攻撃した時、私のために声を挙げる人は一人もいなかった」。

フランスの心理学者で人権活動家のフランク・パヴロフ著の「茶色の朝」（日本オリジナル編集版）は、こ

う記す。茶色党がペット特別措置法で茶色以外の猫を駆除する処分を始め、これに反対する新聞が廃刊となり、気づいたときは全て茶色しか許されない社会になっていた。あの時、「いやだと言うべきだった、反対すべきだった」と。「茶色の朝」にならないように、小さな声でも多くの人が挙げなければならない。「諫官」に代わって。

日中文化協会理事・名古屋外国語大学 特任教授 川村 範行

## 新型コロナワクチンについて

中国を始め、欧米や世界各国で新型コロナワクチンの接種が進んでいます。日本はやや出遅れている感がありますが、公式発表では2月下旬までには医療従事者から接種が開始される予定となっています。

新型コロナワクチンに関しては、様々な情報が飛び交っています。しかし、有益な判断材料とは程遠い粗悪な内容が多く、一般人から見ればワクチンの効果や特性よりも、得体

の知れない不安が先立ちます。

現在はインターネットの普及によって、情報の原典となる公式発表や専門家の見解などに容易にアクセスできるようになりました。玉石混交のニュースサイトや、正体不明の人物がまことしやかに語るページは横に置いておいて、より公共性の高い情報に直接触れるのが賢明ではないでしょうか。(例えば、新設された首相官邸の新型コロナワ

クチン特設サイトや厚生労働省の発表といった公式のもの、新型コロナウイルス感染症対策分科会や日本感染症学会といった専門家グループによる提言などがあります。)

接種する・しないについては個人の意思に委ねられる以上、接種した場合のメリット・デメリット、接種しなかった場合のメリット・デメリットを比較し、落ち着いて判断したいものです。

## 成語故事コーナー

### mǎidúhuánzhū 买椟还珠

楚の国の商人が、真珠を売るために鄭の国へやってきました。しかし、真珠には誰も見向きもしません。彼は考えました。

「真珠を入れる箱が地味で目立たないのかもしれない。」

そこで、良い木材を使って人目を引くような箱を作ることにしました。

外装に綺麗な玉をちりばめ、赤い

そのまま読むと、「箱を買い、真珠を返す」でしょうか。見る目がなく、選択を誤ってしまうという意味で使われるそうです。

宝石で縁取りました。側面は柳の枝のような形状の翡翠で飾り、とても豪華な箱が完成しました。

楚の国の商人はさっそく真珠を箱に入れて、市場で売ることになりました。そこへ一人の男がやってきました。商人は箱を開き、好きな真珠を選んでもらおうとしました。すると、男は箱を手に取り言いました。

「これが欲しい。」

故事では、とても出来の良い箱だったことがうかがえるので、買った男も誰かへのプレゼントを入れるための綺麗な箱を探してでもいた

商人は喜び、男に箱ごと真珠を手渡しました。しかし、男は箱を開けると、中に入っていた真珠を取り出して、商人に返してしまいました。

「この箱が欲しいのだ。」

そう言って男は立ち去りました。残された商人は、返された真珠を見ながら茫然としていました。

のでしょうか。中身は邪魔だったのかもしれませんが、返す必要のない真珠を返してしまったせいで、故事成語として残ってしまいました。

## 漢方教室 121 自然の恵みフコイダン

### 【フコイダンとは】

フコイダンとは、ワカメやコンブ、メカブなどの海藻類のヌメリ成分に多く含まれる天然成分で粘質多糖類の一種です。1913年にスウェーデンの学者によって発見され、「フコイダン」と名付けられました。

このヌメリ成分は、海藻が砂などで傷ついてしまった部分を修復したり、引き潮の時に体が乾燥するのを防いだりする、海藻にとっては大切な成分であり、特にモズクに多く含まれている事がわかっています。

### 【沖縄県産モズクのフコイダン】

様々な海藻類でフコイダン含有量

を調べたところ、沖縄県産モズクのフコイダンは他の海藻に比べフコイダンの含有量が3~7倍と群を抜いていました。動物実験でもその生理作用は他の海藻由来のフコイダンに比べて、優れているという結果が出ています。

### 【日本安恵フコイダン】

日本安恵のフコイダンは、国内で広く支持されている沖縄産モズクを100%使用しています。さらに、フコイダンの働きを強力にサポートする「鹿角霊芝・破壁霊芝孢子粉」「有胞



子乳酸菌」をプラス配合。独自の手法により天然の分子量を出来るだけ損なわないように丁寧に抽出し、平均分子量30万レベルの高分子となっています。

また、フコイダン以外の成分や不純物を取り除き、高純度かつ安全性の高いフコイダンです。もちろん防腐剤・着色料・保存料などの添加物は使用しておりません。

ご興味のある方は、052-242-3930まで。中統ビル3階 日本安恵株式会社



中国からの引き揚げ—思い出すがままに④

経済的に苦しかった高校生活でしたが、部活動に取り組むことで生活の苦しさを忘れることができました。

入学前から剣道部があったら入ろうと心に決めていました。動機は、戦前の満州の小学校入学と同時に警察の道場に稽古に通い、基礎を手ほどきされ、練習がおもしろかったこと。そして、道場に来る若者（旧制中学の生徒で17～18歳くらい）が海軍飛行予科練習生として旅立っていく時の送別会の張りつめた道場の空気がなぜか心に残っていたこと。そんなことで入部が許され、稽古が始まりました。

剣道は、戦後（昭和20年）GHQ（連合国最高司令官総司令部）によって、禁止されました。理由は剣道の上部組織・大日本武徳会が戦争遂行に一定の役割を果たしたということでした。昭和25年、関係者の努力により、剣道が「撓い競技」（しないきょうぎ）として復活を遂げます。剣道との違いは、竹刀が袋竹刀（竹をいく本かに割り袋に詰めたもの）、防具はフェンシングに似たものを使用し、服装は体操着を着用していました。

昭和27年サンフランシスコ講和条約が締結され、日本は独立国となります。この年、中学校以上の正課授業として「撓い競技」が教育現場に導入されます。

杉本 克治

1月誕生日の人の言葉

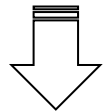
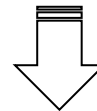
今月の誕生日の人の言葉はお休みです。

新コーナー設置について

以前、日中文化協会の会員だった汪宇さんを覚えていらっしゃる方は多いのではないのでしょうか。彼女は帰国し、現在は海南師範大学で日本語を教えています。教え子たちは日本の皆さんと言葉で通じ合えることを夢見て頑張って勉強しているそうです。

その汪宇さんから連絡があり、ニューズレターの紙面を使って日中文化協会の会員さんたちと、汪宇さんの生徒たちとでコミュニケーションを取れたら嬉しいとの提案をいただきました。そこで、ここに新たなコーナーを設置し、汪宇さんの生徒たちの作文や、会員さんたちの感想やお返事などを掲載できるようにしたいと思います。

ということで、今回の第一回は姜慧君さんです！



中国の「大学生村官」 姜慧君

中国では最近、「大学生村官」になりたい若者たちが現れました。「大学生村官」とは、大学を卒業した後、農村の振興役を背負う若者のことです。では、村官になった一人の若者をズームアップして紹介しましょう。

郭華彬さん、大学を卒業した後、頭脳の賢さと情報収集力の良さで投資をしながら豊富な収入を得ていましたが、2003年24歳になった郭さんは 思いきってこれまでの仕事をやめ、河北省内三村というところで村官として再出発することを決意しました。そこは故郷であり、子供の時過ごした記憶があるからです。しかし、内三村は貧しさで知られており、村のリーダーが就任しては辞めていました。村に行く際、親戚や友人に反対され、忠告や叱りに囲まれていましたが、郭さんは意志を変えませんでした。水不足に苦しんでいる村人を助けるために、友達を友達を通して資金難を乗り越え、終に念願の井戸を掘ることができ、

村人の信頼を得ました。郭さんは今も故郷のために闘志を燃やしているようです。

郭さんのような若者は少数ではありません。2019年まではすでに13万以上の学生がこの道を選んだそうです。困難に向かっても最後までやり遂げる行動力と粘り強さが素晴らしい。私も郭さんのように社会に、困っている人達に力を捧げたいです。

以上、姜慧君さんの力強いお話でした。会員さんからの感想や、姜慧君さんへの質問をお待ちしています。一言コメントから長文まで、何でもOKです。お電話、FAX、E-Mailなどでしどしご応募ください！

ニューズレターの紙面は、インターネットを通じて海南師範大学の学生たちも読んでくれます。海の向こうで日本語を学ぶ若者たちに、どんどん日本語を使ってもらいましょう！



## お知らせ

### ★2月例会

毎年恒例の春節祝賀会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

### ★JCCA 中国語サロン

日時：2月6日（土）20日（土）14：30～

### ★日本語広場

2月の日本語広場はお休みです。

### ★3月例会

日時：未定

\*2月のニューズレターにてお知らせいたします。

## 上山学院の様子

1月22日（金）に3回目の2020年度の入学式を行いました。コロナ第3波襲来で緊急事態宣言の発令、その後1月4日からは海外からの入国が出来なくなり、どうやら今年度最後の入学式になりそうです。それ以降に来日を予定していた学生もいましたが、暫くはまた来日が難しそうな状況になりました。

結局、本年度は35名の学生を受け入れました。中国11名、パキスタン10名、ウズベキスタン6名、ベトナム3名、スリランカ2名、トルコ1名、在日（中国）2名です。コロナでセントレアに就航しているフライトは限定的なため、成田か関空から皆入国しました。11月から始まった入国ラッシュ、4度にわたる成田への出迎えもしばらくはお休みです。

新しい環境の中みんな頑張って勉強しています。



一方、在校生は緊急事態宣言を受けて再度オンライン授業に移行しました。大きな試験（日本語能力試験、日本留学生試験）が終わり、残すところまだ決まっていない学生の進学のみとなりました。校内はいつもいる学生たちの姿が少なく寂しいですが、安全第一で取り組みつつ、オンライン技術を駆使しながら最後までしっかり学生をサポートしていきたいと思います。



コロナ襲来からあっという間に1年が経ち、少しずつ学校も変わりつつありますが、今後とも留学生に必要とされる学校を目指して頑張っていきたいと思います。一日も早いコロナの収束と通常授業復帰を願っております。



この写真の屏風は、漆芸家・佐治賢使（さじただし）さんの作品「牛」です。中統ビルの10階に安置されていたものですが、今年はいし年ということで、1階の事務所に設置することにしました。中統ビルには他にも「残影（棚）」という佐治賢使さんの作品がありましたが、こちらは12年前に石川県へと寄附し、現在は石川県立美術館に所蔵されています。

## 編集局

編集局では現在、携帯電話番号、生年月日、E-Mailアドレスのご登録を推奨しています。イベントのご案内、「誕生日の人の言葉」の掲載、WEBサイト更新の通知などに使用致します。[china@chuto.co.jp](mailto:china@chuto.co.jp)宛にご送付ください。ニューズレターは、WEBサイトにてカラー版を公開しています。郵送不要の方は「郵送不要」とご連絡ください。



〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-29 中統奨学館  
TEL：052-262-1410 FAX：052-262-5036  
一般社団法人日中文化協会 編集長 上山耕治